

TASCAM

TASCAM MP-800U

オプションボード TASCAM IF-E100

TELNET プロトコル仕様書

Ver. 1.10

2025 年 09 月

ティアック株式会社

ご注意

ティアック株式会社(以下、弊社といいます)は、本仕様書記載のプロトコルにつきまして、お客様が以下のプロトコル使用約款の条件にご同意されることを前提として、ご使用を許諾申し上げます。

以下のプロトコル使用約款の条件にご同意頂けない場合は、本件プロトコルをご使用になることはできませんので本仕様書をご返却下さい。また、お客様が以下のプロトコル使用約款の条件に違反されますと、弊社の権利を侵害することになり、以降のご使用の停止、また、損害賠償等の請求対象となりますことをご承知おき下さい。

プロトコル使用約款

1. 本契約は、お客様が本プロトコルのご使用を開始したときから発効します。
2. 弊社は、該当するタスカム製品と互換性を有する装置(ソフトウェアを含む)を開発するために「使用」する非独占的、譲渡不能の権利をお客様に許諾します。
3. お客様が本仕様書を入手されたことは、本使用約款に規定された以外に本プロトコルのいかなる権利、権原若しくは利権の取得を意味するものではありません。お客様は、本仕様書が弊社に帰属する著作物として、「万国著作権条約」または「文学的および美術的著作物保護に関するベルヌ条約」の加盟国の著作権法に基づき保護されることをご認識下さい。本プロトコルに係る一切の知的財産権は、弊社若しくは弊社への供給元に帰属しております。
4. (1) お客様は、本仕様書を複製することはできません。
(2) お客様は、本仕様書を弊社の事前承諾無く、第三者に譲渡することはできません。
(3) 本仕様書は、弊社に帰属する秘密情報が記載されておりますので、お客様は、弊社の事前承諾無く、第三者に開示することはできません。
5. 本仕様書および本プロトコルは、現状あるがままの状態を提供申し上げるものです。弊社は、本仕様書の記載事項や本プロトコルが、お客様の特定の使用目的に適合するか、或いは、誤りがないか、について何等の保証するものではありません。
6. 弊社は、本仕様書の記載内容について、お客様のお問い合わせに対応することはできません。
7. 弊社は、本仕様書および本プロトコルの使用や使用不能から生じたいかなる損害(事業上の損失、営業の中断、営業上の情報の損失、その他の金銭上の損害など)についても責任を負いません、例え、その損害の可能性が弊社に事前に知らされていたとしても同様です。

以上

1. 概要

MP-800U の ETHERNET 端子(別売りの TASCAM IF-E100 搭載時) を使用して、コンピュータなどの外部機器より MP-800U を制御することが可能です。ここでは MP-800U は被制御機器となります。また、外部より制御を行う機器は制御機器となります。

2. 仕様

2.1 IP コントロール (Ethernet)

通信インターフェース

通信システム伝送	全二重
伝送プロトコル	TCP/IP (Telnet)
ポート番号	23
パスワード	数字のみ。最大 10 桁 (初期値: 400)
Ethernet 規格	100BASE-TX
転送速度	10 / 100 / 1000 Mbps
TCP port No.	9030
最大転送サイズ	600 Bytes (開始文字から終了文字まで含みます)
コネクタ	RJ-45
ケーブル	カテゴリ5e 以上の STP ケーブル

2.2 Telnet

MP-800U(被制御機器)とプロトコルのやり取りをするには Telnet で接続後、ログインする必要があります。

設定値

MP-800U(被制御機器)に Telnet 接続する際に必要な設定値は、以下の通りです。

IP アドレス: 本機の IP アドレスは、IP Address 画面に表示されます。

ポート番号: 23

パスワード: デフォルトのパスワードは、400 です。IP Password 画面で変更することができます。

ログイン

ログイン方法は以下の通りになります。

1. 上記の IP アドレス、ポート番号で MP-800U(被制御機器)に Telnet 接続後、“CR+LF”を送信して下さい。(キャリッジリターン(CR:0x0D)+ラインフィード(LF:0x0A))
2. Telnet コンソールに“Enter Password”と表示されますので、上記パスワードを入力して“CR+LF”を送信して下さい。
3. ログインに成功すると Telnet コンソールに“Login Successful”と表示されます。

メモ

- ・複数接続はできません。既に Telnet 接続されている場合には、他の Telnet 接続はできません。
- ・Telnet 接続中に Network Set.項目内の設定(Password 等)を変更すると、Telnet 接続が切断されます。

3. コマンドフォーマット

3.1 コマンドフォーマット概要

コマンドフォーマットを次に示します。

Byte 1	Byte 2	Byte 3	Byte 4	Byte 5	Byte 6	Byte 7	...	Byte n-1	Byte n
ID	Command		Data 1	Data 2	Data 3	Data 4	...	CR	LF

コマンドは「ID」で始まり、「キャリッジリターン (CR)」「ラインフィード (LF)」で終わる、ASCII フォーマットを基調としたものとなっています。

マシン ID(ID)については後述します。

コマンドは 2 バイトの ASCII で表します。

データの詳細については、各コマンドの詳細を参照してください。なお、データ値として 0～9 および A～F を使用するコマンドにおける A～F は大文字キャラクタを使用します。

コマンドの具体例

例 1: マシン ID=0 の被制御機器に PLAY コマンドを送る場合

停止または再生待機時、このコマンドにより被制御機器は再生を開始します。

PLAY コマンドは[12]であり、次のように送信します。

	ID	Command			
ASCII	0	1	2	CR	LF
HEX	30h	31h	32h	0Dh	0Ah

例 2: マシン ID=0 の被制御機器に 123トラック目のダイレクトサーチを指示する場合

この動作を行うためのコマンドは"DIRECT TRACK SEARCH PRESET [23]"を送信します。

データ・バイトは 2 バイト単位の ASCII で構成されています。

"DIRECT TRACK SEARCH PRESET"コマンドのトラック番号指定は次のようになります。

Data 1 指定するトラック番号の十の桁

Data 2 指定するトラック番号の一の桁

Data 3 指定するトラック番号の千の桁

Data 4 指定するトラック番号の百の桁

従って、送信コマンドは次のようになります。

	ID	Command		Data:123トラック					
ASCII	0	2	3	2	3	0	1	CR	LF
HEX	30h	32h	33h	32h	33h	30h	31h	0Dh	0Ah

3.2 マシン ID (ID)

本機は、マシン ID=0 でコマンドの受信およびリターンの送信を行います。

マシン ID=0 以外の ID を持つコマンドを受信した場合は、そのコマンドを無視します。

3.3 コマンド一覧

コマンド一覧

Control/Preset/Sense Command		Return Command		Adopted F/W Ver.
0F	INFORMATION REQUEST	8F	INFORMATION RETURN	
10	STOP			
12	PLAY			
14	READY			
16	SEARCH			
1A	TRACK SKIP			
20	AUTO CUE LEVEL PRESET	A0	AUTO CUE LEVEL RETURN	
23	DIRECT TRACK SEARCH PRESET			
25	PITCH DATA PRESET	A5	PITCH DATA RETURN	
2E	FADE IN/OUT TIME PRESET	AE	FADE IN/OUT TIME RETURN	
30	AUTO CUE SELECT	B0	AUTO CUE SELECT RETURN	
34	RESUME PLAY SELECT	B4	RESUME PLAY SELECT RETURN	
35	PITCH CONTROL SELECT	B5	PITCH CONTROL SELECT RETURN	
36	AUTO READY SELECT	B6	AUTO READY SELECT RETURN	
37	REPEAT SELECT	B7	REPEAT SELECT RETURN	
3A	INCR PLAY SELECT	BA	INCR PLAY SELECT RETURN	
3D	KEY CONTROL SELECT	BD	KEY CONTROL SELECT RETURN	
4A	CLEAR			
4C	REMOTE/LOCAL SELECT	CC	REMOTE/LOCAL SELECT RETURN	
4D	PLAY MODE SELECT			
4E	PLAY MODE SENSE	CE	PLAY MODE RETURN	
50	MECHA STATUS SENSE	D0	MECHA STATUS RETURN	
55	TRACK No. SENSE	D5	TRACK No. RETURN	
56	MEDIA STATUS SENSE	D6	MEDIA STATUS RETURN	
57	CURRENT TRACK INFORMATION SENSE	D7	CURRENT TRACK INFORMATION RETURN	
58	CURRENT TRACK TIME SENSE	D8	CURRENT TRACK TIME RETURN	
5D	TOTAL TRACK No./TOTAL TIME SENSE	DD	TOTAL TRACK No./TOTAL TIME RETURN	
		F0	ERROR SENSE REQUEST	
		F1	CAUTION SENSE REQUEST	
		F2	ILLEGAL STATUS	
		F4	POWER ON STATUS	
		F6	CHANGE STATUS	
78	ERROR SENSE	F8	ERROR SENSE RETURN	
79	CAUTION SENSE	F9	CAUTION SENSE RETURN	
7F	VENDOR COMMAND	FF	VENDOR COMMAND RETURN	

注) “Adopted F/W Ver.”に対応バージョンが未記入のコマンドは、Ver.1.00 以降のバージョンにて対応しています。

ベンダコマンド一覧

ベンダコマンド(Command 7F / FF)の一覧は次のとおりです。

コマンドコードは、Command(2バイト)、Category Code(2バイト)、Sub Command(2バイト)を組み合わせたものを記載しています。詳細については、27 ページ以降をご覧ください。

Control/Sense Command		Return Command		Adopted F/W Ver.
7F01	DEVICE SELECT	FF01	DEVICE SELECT RETURN	
7F071D	CALL MODE SELECT	FF079D	CALL MODE SELECT RETURN	V1.10
7F074F	PLAY AREA SELECT	FF07CF	PLAY AREA SELECT RETURN	
7F7049	ENTER			
7F704A	BACK			
7F4C00	CURRENT FILE NAME SENSE	FF4C80	CURRENT FILE NAME RETURN	
7F4C01	BROWSE CURSOR SENSE	FF4C81	BROWSE CURSOR RETURN	
7F4C02	MOVE BROWSE CURSOR	FF4C82	MOVE BROWSE CURSOR RETURN	
7F4C0A	ID3 TAG DATA SENSE	FF4C8A	ID3 TAG DATA RETURN	
7F4C0F	TOTAL FILE NUMBER SENSE	FF4C8F	TOTAL FILE NUMBER RETURN	
7F4F00	TUNER FREQUENCY PRESET	FF4F80	TUNER FREQUENCY RETURN	

注) “Adopted F/W Ver.”に対応バージョンが未記入のコマンドは、Ver.1.00 以降のバージョンにて対応しています。

3.4 コマンド・シーケンス

制御機器が送信するトランスポート・コントロールやデータのプリセット・コマンドに対して、ほとんどの場合、被制御機器より ACK は送信しません。

被制御機器に設定されているデータ値を返信するよう要求するデータ・センス・コマンドに対しては、被制御機器はリターン・コマンドを返信します。

また被制御機器が停止状態から再生状態に変わるなど、状態変化が生じたとき、およびエラー等が発生したときには、被制御機器はそれらを通知するコマンドを制御機器に対して送信します。

以下に、コマンド・シーケンスの例を述べます。

なお、コマンドとコマンドの間は 100ms 以上あけてください。

例 1: 被制御機器のトランスポート・コントロールを行う

ここでは再生を行う例を述べます。

被制御機器は PLAY コマンドを受信して再生状態になると CHANGED STATUS コマンドを送信します。

PLAY コマンドについての ACK は送信しません。

コマンド		被制御機器の状態
制御機器	被制御機器	
PLAY	→	停止状態
	← CHANGED STATUS	再生状態になると送信

例 2: データをプリセットする

ここでは PLAY MODE SELECT の設定例を述べます。

被制御機器は PLAY MODE SELECT (Single)コマンドを受信すると PLAY MODE SELECT を設定します。

このコマンドについての ACK は送信しません。

コマンド		被制御機器の状態
制御機器	被制御機器	
PLAY MODE SELECT (Single)	→	PLAY MODE SELECT を Single に設定

例 3: 設定されているデータを取得する

ここでは設定されている PLAY MODE SENSE を取得する例を述べます。

被制御機器は PLAY MODE SENSE Sense)コマンドを受信すると、設定されている PLAY MODE を返信します。

コマンド		被制御機器の状態
制御機器	被制御機器	
PLAY MODE SENSE (Sense)	→	
	← PLAY MODE RETURN	

コマンド詳細

ここに記載されているコマンドやデータ、マシン ID はキャラクタ(ASCII)です。

Command は 2 バイトのキャラクタ、Machine ID は 1 バイトのキャラクタ、Data は 1 バイトずつのキャラクタです。

本機で扱うことが可能なトラック番号およびグループ番号の仕様は次のとおりです。ただし、メディアに存在しない番号を指定された場合は無効なコマンドとみなします。

トラック番号 最大 999

3.5 コマンド詳細

INFORMATION REQUEST

被制御機器のソフトウェア・バージョン等の情報を返信するよう要求します。

Command 0F

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Version status	00: MAIN ver.
Data 2		01: SUB ver.

Return INFORMATION RETURN [8F]

STOP

被制御機器を停止モードにします。

カレントソースが FM のとき、周波数モードとプリセット選択モードを切り換えます。

Command 10

Machine ID 0

Data なし

Return なし

PLAY

被制御機器を再生モードにします。

Command 12

Machine ID 0

Data なし

Return なし

READY

被制御機器を再生待機モードにします。

Command 14

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	1	Ready On	再生待機モードにします。

Return なし

SEARCH

被制御機器をサーチ再生にします。

STOP、PLAY、READY 等のコマンドを受信するまでサーチ再生を維持します。

FM 時はオートサーチを行います。

Command 16

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Search Forward (Normal)	USB/SD 時、順方向サーチ再生モードにします。(標準速) FM 時、受信周波数の高い方へオートサーチします
0	1	Search Reverse (Normal)	USB/SD 時、逆方向サーチ再生モードにします。(標準速) FM 時、受信周波数の低い方へオートサーチします
1	0	Search Forward (High)	USB/SD 時、順方向サーチ再生モードにします。(高速)
1	1	Search Reverse (High)	USB/SD 時、逆方向サーチ再生モードにします。(高速)

Return なし

TRACK SKIP

被制御機器をトラック・スキップさせます。

スキップ後は、スキップ開始時のモードを維持します。

カレントソースが FM でプリセット番号が表示されていないとき(周波数モード)は受信周波数を変更します。プ

リセット番号が表示されているとき(プリセットモード)は手前または次のプリセット番号に移動します。

Command 1A

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Track Skip Next	次のトラックにスキップします。
0	1	Track Skip Previous	現在位置がトラックの先頭にあるときは、一つ前のトラックの先頭にスキップします。現在位置がトラックの先頭でないときは、現在のトラックの先頭にスキップします。

Return なし

AUTO CUE LEVEL PRESET

被制御機器の Auto Cue Level を設定します。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Auto Cue Mode の設定はコマンド"AUTO CUE SELECT [30]"で行います。

Command 20

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Preset -24dB	
0	1	Preset -30dB	
0	2	Preset -36dB	
0	3	Preset -42dB	
0	4	Preset -48dB	
0	5	Preset -54dB	
0	6	Preset -60dB	
0	7	Preset -66dB	
0	8	Preset -72dB	
F	F	Sense	プリセットされているレベルを返信するよう要求します。

・ 上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return AUTO CUE LEVEL RETURN [A0]

DIRECT TRACK SEARCH PRESET

トラック番号を指定してサーチします。

サーチ後再生を開始します。

ソースが FM の時は、プリセット番号を指定して、プリセットされた局を選択します。

Command 23

Machine ID 0

Data 4 bytes

	内容	備考
Data 1	トラック番号の十の桁 プリセット番号の十の桁(FM)	トラック番号 例) 2301:トラック 123
Data 2	トラック番号の一の桁 プリセット番号の一の桁(FM)	
Data 3	トラック番号の千の桁 常時 0 (FM)	
Data 4	トラック番号の百の桁 常時 0 (FM)	

Return なし

指定したトラック番号がそのメディアに存在しない時 F2 を返します。

ソースが FM の時に 20 より大きい数が指定されたとき、F2 を返します。

PITCH DATA PRESET

被制御機器の再生ピッチを%単位で設定します。

設定範囲は±16.0%です。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Sense [FF]指定時は、データは 2 バイトです。

ピッチコントロール・モードの設定はコマンド"PITCH CONTROL SELECT [35]"で行います。

Command 25

Machine ID 0

Data 4 bytes または 2 bytes

Data 1	Data 2	Data 3	Data 4	内容	備考
N2	N3	0 1	N1	Preset %	プラス値 マイナス値 N1: 十の桁、N2: 一の桁、N3: 小数点第一位の桁(常に「0」) 例) 2011:-12.0%
F	F	...		Sense	プリセットされているピッチを返信するよう要求します。

Return PITCH DATA RETURN [A5]

上記以外の Data または動作仕様範囲外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

FADE IN/OUT TIME PRESET

被制御機器のフェードイン／アウト機能におけるフェードイン／アウト時間を設定します。

設定範囲は 0.5 秒～10.0 秒(0.5 秒刻み)です。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Sense [FF]指定時は、データは IN Time[00]または OUT Time[01]を含む 4 バイトです。

Command 2E

Machine ID 0

Data 6 bytes または 4 bytes

Data1	Data2	Data3	Data4	Data5	Data6	内容	備考
0	0 1					IN Time OUT Time	
		N1	N2	N3	N4	Preset Time	N1 : 十の桁、N2 : 一の桁、N3 : 小数点第一位の桁(0 または 5)、N4 : 小数点第二位の桁(常に 0)
		F	F	...		Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します

Return FADE IN/OUT TIME RETURN (AE)

上記以外の Data または動作仕様範囲外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

AUTO CUE SELECT

被制御機器のオートキュー・モードの設定を行います。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

AUTO CUE LEVEL の設定はコマンド”AUTO CUE LEVEL PRESET [20]”で行います。

Command 30

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Auto Cue Off	
0	1	Auto Cue On	
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

Return AUTO CUE SELECT RETURN [B0]

上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

RESUME PLAY SELECT

被制御機器のリジュームプレイ・モードの設定を行います。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 34

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Resume Play Off	
0	1	Resume Play On	
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

Return RESUME PLAY SELECT RETURN [B4]

PITCH CONTROL SELECT

被制御機器のピッチコントロール・モードを設定します。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

ピッチコントロールの値はコマンド”PITCH DATA PRESET [25]”で設定します。

Command 35

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Pitch Control Off	
0	1	Pitch Control On	
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

Return PITCH CONTROL SELECT RETURN [B5]

上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

AUTO READY SELECT

被制御機器のオートレディ・モードの設定を行います。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 36

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Auto Ready Off	
0	1	Auto Ready On	
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return AUTO READY SELECT RETURN [B6]

REPEAT SELECT

被制御機器のリピート・モードの設定を行います。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 37

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Repeat Off	
0	1	Repeat On	
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

Return REPEAT SELECT RETURN [B7]

INCR PLAY SELECT

被制御機器のインクリメンタルプレイ・モードを設定します。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 3A

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	INCR Play Off	
0	1	INCR Play On	
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

Return INCR PLAY SELECT RETURN [BA]

KEY CONTROL SELECT

被制御機器のキーコントロール・モードを設定します。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 3D

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
1	0	Key Original Off	
1	1	Key Original On	
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

Return KEY CONTROL SELECT RETURN [BD]

上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

CLEAR

CLEAR ボタンと同じ動作をします。

Command 4A

Machine ID 0

Return なし

REMOTE/LOCAL SELECT

被制御機器の本体パネルでのキー操作を有効または無効にします。

Sense [FF]を指定されたときのみ、リターン・コマンドを返信します。

Command 4C

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Front Key disable	NETWORK、リモート・アプリ、リモコン(TASCAM RC-MP800)によるリモート操作のみを有効とします。 本体パネルでのキー操作は無効とします。
0	1	All enable	リモート操作および本体パネルでのキー操作を有効とします。
1	0	Network and Bluetooth Only	NETWORK、リモート・アプリによるリモート操作のみを有効とします。 本体パネルでのキー操作およびリモコン(TASCAM RC-MP800)によるリモート操作は無効とします。
1	1	IR remote disable	NETWORK、リモート・アプリによるリモート操作および本体パネルでのキー操作のみを有効とします。 リモコン(TASCAM RC-MP800)によるリモート操作は無効とします。
2	0	Front key and Bluetooth disable	NETWORK、リモコン(TASCAM RC-MP800)によるリモート操作のみを有効とします。 本体パネルでのキー操作およびリモート・アプリによるリモート操作は無効とします。
2	1	Bluetooth Disable	NETWORK、リモコン(TASCAM RC-MP800)によるリモート操作および本体パネルでのキー操作のみを有効とします。 リモート・アプリによるリモート操作は無効とします。
3	0	Network Only	NETWORK によるリモート操作のみを有効とします。 本体パネルでのキー操作、リモコン(TASCAM RC-MP800)およびリモート・アプリによるリモート操作は無効とします。
3	1	IR Remote and Bluetooth disable	NETWORK によるリモート操作および本体パネルでのキー操作のみを有効とします。 リモコン(TASCAM RC-MP800) およびリモート・アプリによるリモート操作は無効とします。
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

Return REMOTE/LOCAL SELECT RETURN [CC]

PLAY MODE SELECT

被制御機器の再生モードを設定します。

Command 4D

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Continue	プレイエリア全曲の再生モード
0	1	Single	シングル再生モード
0	6	Random	ランダム再生モード

Return なし

PLAY MODE SENSE

被制御機器の再生モードの状態情報を返信するよう要求します。

Command 4E
Machine ID 0
Data なし
Return PLAY MODE RETURN [CE]

MECHA STATUS SENSE

被制御機器のメカニズム関連の状態情報を返信するよう要求します。

Command 50
Machine ID 0
Data なし
Return MECHA STATUS RETURN [D0]

TRACK No. SENSE

現在、位置しているトラック番号を返信するよう要求します。

ソースが FM のときは、現在のプリセット番号を返信するよう要求します。

Command 55
Machine ID 0
Data なし
Return TRACK No. RETURN [D5]

MEDIA STATUS SENSE

メディアの有無やメディアの種類等の情報を返信するよう要求します。

Command 56
Machine ID 0
Data なし
Return MEDIA STATUS RETURN [D6]

CURRENT TRACK INFORMATION SENSE

現在、位置しているトラックの情報を返信するよう要求します。

ソースが FM のときは、現在のプリセット番号と周波数を返信するよう要求します。

Command 57
Machine ID 0
Data なし
Return CURRENT TRACK INFORMATION RETURN [D7]

CURRENT TRACK TIME SENSE

現在、位置しているトラックの時間情報を、指定されたかたちで返信するよう要求します。

Command 58
Machine ID 0
Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Elapsed Time	トラックの経過時間
0	1	Remain Time	トラックの残量時間

Return CURRENT TRACK TIME RETURN [D8]

TOTAL TRACK No./TOTAL TIME SENSE

メディアの総トラック数および合計時間を返信するよう要求します。

Command	5D
Machine ID	0
Data	なし
Return	TOTAL TRACK No./TOTAL TIME RETURN [DD]

ERROR SENSE

被制御機器のエラー情報を返信するよう要求します。

被制御機器より"ERROR SENSE REQUEST [F0]"が発行された場合、本コマンドによりエラー内容の確認を行ってください。

Command	78
Machine ID	0
Data	なし
Return	ERROR SENSE RETURN [F8]

CAUTION SENSE

被接続機器の警告情報を返信するよう要求します。

被制御機器より"CAUTION SENSE REQUEST [F1]"が発行された場合、本コマンドによりエラー内容の確認を行ってください。

Command	79
Machine ID	0
Data	なし
Return	CAUTION SENSE RETURN [F9]

VENDOR COMMAND

本機固有の機能を制御するコマンドです。27 ページからの「ベンダコマンド詳細」を参照ください。

Command	7F
Machine ID	0
Return	VENDOR COMMAND RETURN [FF]

INFORMATION RETURN

コマンド“INFORMATION REQUEST [0F]”に対する返信コマンドです。

被制御機器のソフトウェア・バージョンを返信します。

Command 8F

Machine ID 0

Data 6 bytes

Data 1	Information status	00: MAIN ver.
Data 2		01: SUB ver.
Data 3	ソフトウェア・バージョンの十の桁	Data 1 – Data 4 のデータ例 0123 Version 1.23
Data 4	ソフトウェア・バージョンの一の桁	
Data 5	ソフトウェア・バージョンの小数点第一位の桁	
Data 6	ソフトウェア・バージョンの小数点第二位の桁	

Request INFORMATION REQUEST [0F]

AUTO CUE LEVEL RETURN

コマンド“AUTO CUE LEVEL PRESET [20]”に対する返信コマンドです。

設定されているオートキュー・レベルを返信します。

Command A0

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	-24dB	
0	1	-30dB	
0	2	-36dB	
0	3	-42dB	
0	4	-48dB	
0	5	-54dB	
0	6	-60dB	
0	7	-66dB	
0	8	-72dB	

Request/Preset AUTO CUE LEVEL PRESET [20]

PITCH DATA RETURN

コマンド“PITCH DATA PRESET [25]”に対する返信コマンドです。

設定されているピッチコントロール値を返信します。

Command A5

Machine ID 0

Data 4 bytes

Data 1	Data 2	Data 3	Data 4	内容	備考
N2	N3	0 1	N1	Preset %	プラス値 マイナス値 N1: 十の桁、N2: 一の桁、N3: 小数点第一位の桁 例) 2011: -12.0% -16.0% (6011) ~ +16.0% (6001)

Request/Preset PITCH DATA PRESET [25]

FADE IN/OUT TIME RETURN

コマンド”FADE IN/OUT TIME PRESET [2E]”に対する返信コマンドです。
設定されているフェードイン／アウト時間を返信します。

Command AE

Machine ID 0

Data 6 bytes

Data 1	Fade Mode	00: Fade In time
Data 2		01: Fade Out time
Data 3	十の桁	
Data 4	一の桁	
Data 5	小数点一位の桁	
Data 6	小数点二位の桁	

Request/Preset FADE IN/OUT TIME PRESET [2E]

AUTO CUE SELECT RETURN

コマンド”AUTO CUE SELECT [30]”に対する返信コマンドです。
オートキューのオン/オフ状態を返信します。

Command B0

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Auto Cue Off	
0	1	Auto Cue On	

Request/Preset AUTO CUE SELECT [30]

RESUME PLAY SELECT RETURN

コマンド”RESUME PLAY SELECT [34]”に対する返信コマンドです。
リジュームプレイのオン/オフ状態を返信します。

Command B4

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Resume Play Off	
0	1	Resume Play On	

Request/Preset RESUME PLAY SELECT [34]

PITCH CONTROL SELECT RETURN

コマンド”PITCH CONTROL SELECT [35]”に対する返信コマンドです。
ピッチコントロールのオン/オフ状態を返信します。

Command B5

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Pitch Control Off	
0	1	Pitch Control On	

Request/Preset PITCH CONTROL SELECT [35]

AUTO READY SELECT RETURN

コマンド”AUTO READY SELECT [36]”に対する返信コマンドです。
オートレディのオン/オフ状態を返信します。

Command B6

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Auto Ready Off	
0	1	Auto Ready On	

Request/Preset AUTO READY SELECT [36]

REPEAT SELECT RETURN

コマンド”REPEAT SELECT [37]”に対する返信コマンドです。
リピート・モードのオン/オフ状態を返信します。

Command B7

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Repeat Off	
0	1	Repeat On	

Request/Preset REPEAT SELECT [37]

INCR PLAY SELECT RETURN

コマンド”INCR PLAYSYNC SELECT [3A]”に対する返信コマンドです。
インクリメンタルプレイのオン/オフ状態を返信します。

Command BA

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	INCR Play Off	
0	1	INCR Play On	

Request/Preset INCR PLAY SELECT [3A]

KEY CONTROL SELECT RETURN

コマンド”KEY CONTROL SELECT [3D]”に対する返信コマンドです。
キーコントロールのオン/オフ状態を返信します。

Command BD

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
1	0	Key Original Off	
1	1	Key Original On	

Request/Preset KEY CONTROL SELECT [3D]

REMOTE/LOCAL SELECT RETURN

コマンド“REMOTE/LOCAL SELECT [4C]”に対する返信コマンドです。

本体パネルでのキー操作の有効または無効を返信します。

Command CC

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Front Key disable	NETWORK、リモート・アプリ、リモコン(TASCAM RC-MP800)によるリモート操作のみを有効とします。 本体パネルでのキー操作は無効とします。
0	1	All enable	リモート操作および本体パネルでのキー操作を有効とします。
1	0	Network and Bluetooth Only	NETWORK、リモート・アプリによるリモート操作のみを有効とします。 本体パネルでのキー操作およびリモコン(TASCAM RC-MP800)によるリモート操作は無効とします。
1	1	IR remote disable	NETWORK、リモート・アプリによるリモート操作および本体パネルでのキー操作のみを有効とします。 リモコン(TASCAM RC-MP800)によるリモート操作は無効とします。
2	0	Front key and Bluetooth disable	NETWORK、リモコン(TASCAM RC-MP800)によるリモート操作のみを有効とします。 本体パネルでのキー操作およびリモート・アプリによるリモート操作は無効とします。
2	1	Bluetooth Disable	NETWORK、リモコン(TASCAM RC-MP800)によるリモート操作および本体パネルでのキー操作のみを有効とします。 リモート・アプリによるリモート操作は無効とします。
3	0	Network Only	NETWORK によるリモート操作のみを有効とします。 本体パネルでのキー操作、リモコン(TASCAM RC-MP800)およびリモート・アプリによるリモート操作は無効とします。
3	1	IR Remote and Bluetooth disable	NETWORK によるリモート操作および本体パネルでのキー操作のみを有効とします。 リモコン(TASCAM RC-MP800) およびリモート・アプリによるリモート操作は無効とします。

Request/Preset REMOTE/LOCAL SELECT [4C]

PLAY MODE RETURN

コマンド“PLAY MODE SENSE [4E]”に対する返信コマンドです。

現在の再生モードを返信します。

Command CE

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Continue	プレイエリア全曲の再生モード
0	1	Single	シングル再生モード
0	6	Random	ランダム再生モード

Request/Preset PLAY MODE SENSE [4E]

MECHA STATUS RETURN

コマンド“MECHA STATUS SENSE [50]”に対する返信コマンドです。

現在のメカの動作状態を返信します。

Command D0

Machine ID 0

Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	No Media	メディアが挿入されていない (Bluetooth, Audio Stream 時は No Connection)
0	1	Eject	認識出来るメディアが存在しない (Bluetooth 時は Connecting)
1	0	Stop	停止状態
1	1	Play	再生中 (Bluetooth, Audio Stream 時は Connected)
1	2	Ready On	再生待機状態
2	8	Search Forward	早送り中
2	9	Search Backward	早戻し中
F	F	Other	その他の状態 (Bluetooth Adaptor Port に何も刺さっていないまたは Bluetooth Adaptor Port に AK-BT1 が刺さっている)

Request/Preset MECHA STATUS SENSE [50]

TRACK No. RETURN

コマンド“TRACK No. SENSE [55]”に対する返信コマンドです。

現在、位置しているトラック番号および EOM 表示中であるか否かを返信します。

グループ・モードがオンのときはグループ番号を返信します。

ソースが FM のときは、現在のプリセット番号を返信します。

Command D5

Machine ID 0

Data 4 bytes

	内容	備考
Data 1	十の桁	0000 停止してトラックの頭出し等を行っていない状態(USB/SD 時)、PRESET モードでない時(FM 時)、Bluetooth 時、Audio Stream 時
Data 2	一の桁	
Data 3	千の桁	
Data 4	百の桁	
		0001 – 0999 トラック番号(USB/SD 時)またはプリセット番号 (FM 時)

Request/Preset TRACK No. SENSE [55]

MEDIA STATUS RETURN

コマンド"MEDIA STATUS SENSE [56]"に対する返信コマンドです。
メディアの有無やメディアの種類を返信します。

Command D6

Machine ID 0

Data 4 bytes

Data 1	Media Status	00:Media なし
Data 2		01:Media あり
Data 3	Media Type	00:SD, USB
Data 4		

Request/Preset MEDIA STATUS SENSE [56]

CURRENT TRACK INFORMATION RETURN

コマンド"CURRENT TRACK INFORMATION SENSE [57]"に対する返信コマンドです。
プレイ・モードがプログラム・モードの時はプログラム番号を返信します。それ以外のプレイ・モードの時はトラック番号を返信します。
ソースが FM のときは、現在のプリセット番号と周波数を返信します。

Command D7

Machine ID 0

Data 12 bytes

	内容	備考
Data 1	トラック番号の十の桁 プリセット番号の十の桁 (FM)	
Data 2	トラック番号の一の桁 プリセット番号の一の桁 (FM)	
Data 3	トラック番号の千の桁 常時 0 (FM)	
Data 4	トラック番号の百の桁 常時 0 (FM)	
Data 5	分の十の桁 周波数(MHz)の百の桁 (FM)	
Data 6	分の一の桁 周波数(MHz)の十の桁 (FM)	
Data 7	分の百の桁 周波数(MHz)の一の桁 (FM)	
Data 8	分の千の桁 周波数 (MHz) の 十 分 の 一 の 桁 (FM)	
Data 9	秒の十の桁 周波数 (MHz) の 百 分 の 一 の 桁 (FM)	
Data 10	秒の一の桁 常時 0 (FM)	
Data 11	(フレームの十の桁)	フレームは非対応で、常に 00 となります。
Data 12	(フレームの一の桁)	FM 時も常に 00 となります。

Request/Preset CURRENT TRACK INFORMATION SENSE [57]

CURRENT TRACK TIME RETURN

コマンド"CURRENT TRACK TIME SENSE [58]"に対する返信コマンドです。

現在、位置しているトラックの時間またはメディアの時間を返信します。

Command D8

Machine ID 0

Data 10 bytes

	内容	備考
Data 1	Time Mode	00:トラックの経過時間
Data 2		01:トラックの残量時間
Data 3	分の十の桁	
Data 4	分の一の桁	
Data 5	分の千の桁	
Data 6	分の百の桁	
Data 7	秒の十の桁	
Data 8	秒の一の桁	
Data 9	(フレームの十の桁)	フレームは非対応で、常に 00 となります。
Data 10	(フレームの一の桁)	

Request/Preset CURRENT TRACK TIME SENSE [58]

TOTAL TRACK No./TOTAL TIME RETURN

コマンド"TOTAL TRACK No./TOTAL TIME SENSE [5D]"に対する返信コマンドです。

総トラック数および選択再生範囲の総時間を返信します。

Command DD

Machine ID 0

Data 12 bytes

	内容	備考
Data 1	総トラック数の十の桁	
Data 2	総トラック数の一の桁	
Data 3	総トラック数の千の桁	
Data 4	総トラック数の百の桁	
Data 5	分の十の桁	MP-800U は Total time は非対応。Data 5-12 は常に 0 となります。
Data 6	分の一の桁	
Data 7	分の千の桁	
Data 8	分の百の桁	
Data 9	秒の十の桁	
Data 10	秒の一の桁	
Data 11	秒の十分の一の桁	
Data 12	秒の百分の一の桁	

Request/Preset TOTAL TRACK No./TOTAL TIME SENSE [5D]

ERROR SENSE REQUEST

被制御機器がエラー状態の時に送出します。

被制御機器より本コマンドが送信された場合、制御機器はコマンド"ERROR SENSE [78]"を送出してエラーの内容を確認してください。

Command F0
Machine ID 0
Data なし
Request/Preset なし

CAUTION SENSE REQUEST

被制御機器が警告状態の時に送出します。

被制御機器より本コマンドが送信された場合、制御機器はコマンド"CAUTION SENSE [79]"を送出して警告の内容を確認してください。

Command F1
Machine ID 0
Data なし
Request/Preset なし

ILLEGAL STATUS

被制御機器に無効なコマンドまたはデータが送出された場合に本コマンドを返信します。

被制御機器から本コマンドが返信された場合、制御機器は仕様にあったコマンドまたはデータを送信し直してください。

Command F2
Machine ID 0
Data なし
Request/Preset なし

CHANGE STATUS

被制御機器の動作やモードが変化したことを通知するコマンドです。

Command F6
Machine ID 0
Data 2 bytes

Data 1	Data 2	内容	備考
0	0	Changed Mechanical Status	メカ状態が変化した
0	3	Changed Track/EOM Status	トラック番号が変わった。EOM の表示/非表示状態が変わった(USB/SD) 周波数またはプリセット番号が変わった。(FM)

Request/Preset なし

ERROR SENSE RETURN

コマンド"ERROR SENSE [78]"に対する返信コマンドです。

エラー・コードを返信します。

Command F8

Machine ID 0

Data 4 bytes

Data 1	N2	エラー・コード(N1-N2N3)	
Data 2	N3	0-00	No Error (エラーなし)
Data 3	0	1-01	Rec Error (録音に関するエラー)
Data 4	N1	1-02	Device Error (デバイスに関するエラー)
		1-FF	Other Error (上記以外のエラー。本体を確認ください)

Request/Preset ERROR SENSE [78]

CAUTION SENSE RETURN

コマンド"CAUTION SENSE [79]"に対する返信コマンドです。

警告コードを返信します。

Command F9

Machine ID 0

Data 4 bytes

Data 1	N2	警告コード(N1-N2N3)	
Data 2	N3	0-00	No Caution (警告無し)
Data 3	0	1-02	Media Error (メディアに関するエラー)
Data 4	N1	1-06	Media Full (メディアの残容量が無い)
		1-0C	Write Protected (メディアが書き込み禁止)
		1-0D	Not Execute (機能実行できない状態)
		1-13	Can't Select (選択できない状態)
		1-16	Name Full (名前設定の文字数制限が上限に達した)
		1-1E	Decode Error (再生に関するエラー)
		1-1F	Media Not Match (メディアが適合しない)
		1-FF	Other Caution (上記以外の警告。本体をご確認ください)

Request/Preset CAUTION SENSE [79]

VENDOR COMMAND RETURN

COMMAND [7F]に対する返信コマンドです。次の「ベンダコマンド詳細」を参照ください。

Command FF

Machine ID 0

4. ベンダコマンド詳細

ベンダコマンドは、以下の様なフォーマットで構成されています。

Byte 1	2	3	4	5	6	7	8	...	n-1	n
ID	Command		Data 1	Data 2	Data 3	Data 4	Data 5	...	LF	CR
'0'	'7F' or 'FF'		Category Code		Sub Command		Parameter	...	LF	CR

Category Code: ベンダコマンドを機能別に区分するためのカテゴリコード(2バイトの ASCII)

Sub Command: カテゴリ内でユニークなサブコマンドコード(2バイトの ASCII)

DEVICE SELECT (01), DIVIDE (02), DELETE (03) は、Sub Command はありません。

DEVICE SELECT (01) は、Data 3 以降が Parameter となります。

Parameter: コマンドコードに付加するパラメータ (ASCII, 長さはサブコマンド毎に異なる)

Category Code の一覧は次のとおりです。

Data 1	Data 2	カテゴリ区分	説明
0	1	DEVICE SELECT	使用するデバイスを選択します
0	7	再生設定	再生に関する操作

DEVICE SELECT

被接続機器のデバイス(ソース)の切り替えを行います。

Command 7F

Category Code 01

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 3	Data 4	内容	備考
0	0	SD	SD をカレントデバイス(ソース)にします。
1	0	USB	USB をカレントデバイス(ソース)にします。
2	0	Bluetooth	Bluetooth をカレントデバイス(ソース)にします。
3	0	FM	FM をカレントデバイス(ソース)にします。
5	0	AUDIO STREAM	AUDIO STREAM をカレントデバイス(ソース)にします。
F	F	Sense	現在の設定を返信するように要求します。

Return DEVICE SELECT RETURN [FF01]

CALL MODE SELECT

被制御機器の CALL モードを設定します。

Command 7F

Category Code 07

Sub Command 1D

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	CALL mode Off	
0	1	CALL mode On	
F	F	Sense	プリセットされている内容を返信するよう要求します。

Return CALL MODE RETURN [FF079D]

上記以外の Data を受信した場合、本機は ILLEGAL [F2] を送出します。

PLAY AREA SELECT

被制御機器の再生対象(Play Area)の設定を行います。

Command 7F

Category Code 07

Sub Command 4F

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 5	Data6	内容	備考
0	0	All	再生対象を全てにします。
0	F	Folder	再生対象をフォルダーにします。
F	F	Sense	現在の設定を返信するように要求します。

ソースが USB または SD 以外の場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

Return PLAY AREA SELECT RETURN [FF074F]

ENTER

メニュー画面表示中、選択や設定を確定します。また、カレントソースが USB / SD で、再生対象が「フォルダー(アイコン表示)」のとき(フォルダーアイコン点滅中)、トラック選択時はトラックを決定(再生状態は決定時の再生状態に従います)し、フォルダー選択時はフォルダーを一つ下の階層に移動します。また、メッセージに YES を返すのに使用します。

本体の MULTI JOG ダイヤルまたはリモコンの ENTER ボタンと同じ動作をします。

Command 7F

Category Code 70

Sub Command 49

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 5	Data6	内容	備考
0	0	(Reserved)	ENTER Key - Release 用に予約済み
0	1	ENTER key - Push	ENTER キーを押したのと同じ動作をします。

Return なし

注: 長押しはありません。

BACK

BACK key - Push : Menu 画面を表示中はホーム画面に戻ります。Menu 画面の設定画面を表示中は 1 つ上のメニュー階層に移動します。カレントソースが USB / SD で、再生対象が「フォルダー(アイコン表示)」のときは、フォルダーを 1 つ上の階層に移動します。

BACK key - Long Push : カレントソースが BLUETOOTH のとき、Bluetooth が接続されていないときは Bluetooth のペアリングモードになります。Bluetooth が接続されている(Connected が表示)ときは、接続を強制的に切断します。

本体の BACK [PAIRING] ボタンと同じ動作をします。

Command 7F

Category Code 70

Sub Command 4A

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	(Reserved)	ENTER Key - Release 用に予約済み
0	1	BACK key - Push	BACK キーを押したのと同じ動作をします。
2	0	BACK key - Long Push	BACK キーを長押したのと同じ動作をします。

Return なし

CURRENT FILE NAME SENSE

ソースが USB または SD のとき、カレントファイルのファイル名を返信するよう要求します。

Command 7F

Category Code 4C

Sub Command 00

Machine ID 0

Parameter なし

Return CURRENT FILE NAME RETURN [FF4C80]

メディアがない場合などカレントファイルが指定されていない場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

BROWSE CURSOR SENSE

ソースが USB または SD のとき、BROWSE カーソルを使ってファイル/フォルダ名を返信するよう要求します。

Command 7F

Category Code 4C

Sub Command 01

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	CURRENT	現在のカーソルのファイル/フォルダ名
0	6	PLAYING	再生中のファイル名

RETURN BROWSE CURSOR RETURN [FF4C81]

メディアがない場合など指定されていない場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

MOVE BROWSE CURSOR

ソースが USB または SD のとき、BROWSE カーソルを移動します。

Command 7F

Category Code 4C

Sub Command 02

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 5	Data6	内容	備考
0	1	UP	BROWSE カーソルをひとつ上層のフォルダに移動
0	2	ENTER	BROWSE カーソルがファイルにあたっている場合、そのファイルを決定(再生状態は決定時の再生状態に従う)。フォルダーの場合、そのフォルダーに移動。
0	3	PREV	BROWSE カーソルを次のファイル/フォルダに移動
0	4	NEXT	BROWSE カーソルを前のファイル/フォルダに移動
0	5	ROOT	BROWSE カーソルをルートフォルダに移動

Return MOVE BROWSE CURSOR RETURN [FF4C82]

メディアがない場合など指定されていない場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

ID3 TAG DATA SENSE

ソースが USB または SD のとき、カレントファイルの ID3 タグ情報を返信するよう要求します。

Command 7F

Category Code 4C

Sub Command 0A

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 5	Data6	内容	備考
0	0	TITLE	
0	1	ARTIST	
0	2	ALBUM	
0	3	FOLDER	

Return ID3 TAG DATA RETURN [FF4C8A]

メディアがない場合などカレントファイルが指定されていない場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

TOTAL FILE NUMBER SENSE

ソースが USB または SD のときで再生対象が全ての時、被制御機器のカレントメディア上の再生可能ファイル数を返信するよう要求します。

ソースが USB または SD のときで再生対象がフォルダーの時、現在のフォルダー内の再生可能ファイル数を返信するよう要求します。

Command 7F

Category Code 4C

Sub Command 0F

Machine ID 0

Parameter なし

Return TOTAL FILE NUMBER RETURN [FF4C8F]

メディアがない場合など指定されていない場合、本機は ILLEGAL [F2]を送出します。

TUNER FREQUENCY PRESET

ソースが FM の時、周波数を指定して、局を選択します。

Command 7F

Category Code 4F

Sub Command 00

Machine ID 0

Parameter 5 bytes

	内容	備考
Data 5	周波数の百の桁	指定周波数 例) 08130: 81.3 MHz
Data 6	周波数の十の桁	
Data 7	周波数の一の桁	
Data 8	周波数の小数点一位の桁	
Data 9	周波数の小数点二位の桁	

Return TUNER FREQUENCY RETURN [FF4F80]

Data 9(周波数の小数点二位の桁)はヨーロッパ仕様のみ有効で、その値は 0 または 5 です。

仕様範囲外 Data を受信した場合、被制御機器は ILLEGAL[F2]を送出します。

DEVICE SELECT RETURN

コマンド"DEVICE SELECT [7F01]"に対する返信コマンドです。

カレントデバイス(ソース)を返信します。

Command FF

Category Code 01

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 3	Data 4	内容	備考
0	0	SD	カレントデバイス(ソース)が SD
1	0	USB	カレントデバイス(ソース)が USB
2	0	Bluetooth	カレントデバイス(ソース)が Bluetooth
3	0	FM	カレントデバイス(ソース)が FM
5	0	AUDIO STREAM	カレントデバイス(ソース)が AUDIO STREAM

Request/Preset DEVICE SELECT [7F01]

CALL MODE SELECT RETURN

コマンド"CALL MODE SELECT [7F071D]"に対する返信コマンドです。

キーコントロールのオン/オフ状態を返信します。

Command FF

Category Code 07

Sub Command 9D

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	CALL mode Off	
0	1	CALL mode On	

Request/Preset CALL MODE SELECT [7F071D]

PLAY AREA SELECT RETURN

コマンド"PLAY AREA SELECT [7F074F]"に対する返信コマンドです。

設定されている再生対象(Play Area)を返信します。

Command FF

Category Code 07

Sub Command CF

Machine ID 0

Parameter 2 bytes

Data 5	Data 6	内容	備考
0	0	All	再生対象を全てにします。
0	F	Folder	再生対象をフォルダーにします。

Request/Preset PLAY AREA SELECT [7F074F]

CURRENT FILE NAME RETURN

コマンド"CURRENT FILE NAME SENSE [7F4C00]"に対する返信コマンドです。

ソースが USB または SD のとき、カレントファイルのファイル名を返信します。

Data 9 以降に UTF-16 でファイル/フォルダー名を返信します。

Command FF
Category Code 4C
Sub Command 80
Machine ID 0
Parameter 6~2054 bytes

	内容	備考
Data 5	ファイル名の長さの十の桁	ファイルの長さ(Byte) 最大512 Byte 例) 2400: 24 Byte
Data 6	ファイル名の長さの一の桁	
Data 7	ファイル名の長さの千の桁	
Data 8	ファイル名の長さの百の桁	
Data 9 -	ファイル名	UTF-16、Data5~8 で指定された長さ(ただし最後 2byte は常に 00)

Request/Preset CURRENT FILE NAME SENSE [7F4C00]

BROWSE CURSOR RETURN

コマンド"BROWSE CURSOR SENSE [7F4C01]"に対する返信コマンドです。

ソースが USB または SD のとき、ブラウザカーソルのあるファイル/フォルダー名を返信します。

Data 11 以降に UTF-16 でファイル/フォルダー名を返信します。

Command FF
Category Code 4C
Sub Command 81
Machine ID 0
Parameter 8~2056 bytes

	内容	備考
Data 5	FILE/FOLDER status	00: ファイル
Data 6		01: フォルダー
Data 7	ファイルの長さの十の桁	ファイルの長さ(Byte) 最大2048 Byte 例) 2400: 24 Byte
Data 8	ファイルの長さの一の桁	
Data 9	ファイルの長さの千の桁	
Data 10	ファイルの長さの百の桁	
Data 11 -	ファイル/フォルダー名	UTF-16、Data7~10 で指定された長さ(ただし最後 2byte は常に 00)

Request/Preset BROWSE CURSOR SENSE [7F4C01]

MOVE BROWSE CURSOR RETURN

コマンド"MOVE BROWSE CURSOR [7F4C02]"に対する返信コマンドです。

ソースが USB または SD のとき、ブラウザカーソルを移動した先のファイル/フォルダー名を返信します。

Data 11 以降に UTF-16 でファイル/フォルダー名を返信します。

Command FF

Category Code 4C

Sub Command 82

Machine ID 0

Parameter 8~2056 bytes

	内容	備考
Data 5	FILE/FOLDER status	00: ファイル
Data 6		01: フォルダー
Data 7	ファイルの長さの十の桁	ファイルの長さ(Byte) 最大2048 Byte 例) 2400: 24 Byte
Data 8	ファイルの長さの一の桁	
Data 9	ファイルの長さの千の桁	
Data 10	ファイルの長さの百の桁	
Data 11 -	ファイル/フォルダー名	UTF-16、Data7~10 で指定された長さ(ただし最後 2byte は常に 00)

Request/Preset BROWSE CURSOR SENSE [7F4C01]

ID3 TAG DATA RETURN

コマンド"ID3 TAG DATA SENSE [7F4C0A]"に対する返信コマンドです。

ソースが USB または SD のとき、ID3 タグ情報を返信します。UTF-16

Data 11 以降に UTF-16 で ID3 タグ情報を返信します。

Command FF

Category Code 4C

Sub Command 8A

Machine ID 0

Parameter 8 bytes~2056 bytes

	内容	備考
Data 5	ID3 TAG status	00: TITLE、01: ARTIST、02: ALBUM、03: FOLDER
Data 6		
Data 7	ID3 TAG 情報の長さの十の桁	ファイルの長さ(Byte) 最大2048 Byte 例) 2400: 24 Byte
Data 8	ID3 TAG 情報の長さの一の桁	
Data 9	ID3 TAG 情報の長さの千の桁	
Data 10	ID3 TAG 情報の長さの百の桁	
Data 11 -	ID3 TAG 情報	UTF-16、Data7~10 で指定された長さ(ただし最後 2byte は常に 00)

Request/Preset ID3 TAG DATA SENSE [7F4C0A]

TOTAL FILE NUMBER RTEURN

コマンド"TOTAL FILE NUMBER SENSE [7F4C0F]"に対する返信コマンドです。

ソースが USB または SD のときで再生対象が全ての時、被制御機器のカレントメディア上の再生可能ファイル数を返信します。

ソースが USB または SD のときで再生対象が全ての時、現在のフォルダー内の再生可能ファイル数を返信します。

Command FF

Category Code 4C

Sub Command 8F

Machine ID 0

Parameter 4 bytes

	内容	備考
Data 5	ファイル数の十の桁	ファイル数 例) 1200: ファイル数 12
Data 6	ファイル数の一の桁	
Data 7	ファイル数の千の桁	
Data 8	ファイル数の百の桁	

Request/Preset TOTAL FILE NUMBER SENSE [7F4C0F]

TUNER FREQUENCY RETURN

コマンド"TUNER FREQUENCY PRESET [7F4F00]"に対する返信コマンドです。

ソースが FM の時、現在の周波数を選択します。

Command FF

Category Code 4F

Sub Command 80

Machine ID 0

Parameter 5 bytes

	内容	備考
Data 5	周波数の百の桁	周波数 例) 08130: 81.3 MHz
Data 6	周波数の十の桁	
Data 7	周波数の一の桁	
Data 8	周波数の小数点一位の桁	
Data 9	周波数の小数点二位の桁	

Request/Preset TUNER FREQUENCY RETURN [7F4F00]

バージョンリスト

DATE	DOC Ver.	CONTENTS
2025/5/12	1.00	初版発行
2025/8/18	1.10	<p>P28 PLAY AREA SELECT[7F074F] 及び P32 PLAY AREA SELECT RETURN [FF07CF] Parameter 01 "Folder, not skip mode" 削除 Parameter 0F の名称を "Folder, skip mode"から"Folder"に変更し、備考を「再生対象をフォルダーにし、スキップモードは On にします。」から「再生対象をフォルダーにします。」に変更 P28 ENTER Play area が folder の時の記載を修正。 P6 ベンダコマンド一覧 以下のコマンドを追加 ・ 7F071D "CALL MODE SELECT" ・ FF079D "CALL MODE SELECT RETURN" ・ FF4C82 "MOVE BROWSE CURSOR RETURN" P27 CALL MODE SELECT 本コマンドを追加 P30 MOVE BROWSE CURSOR RETURN 項目を「なし」から「MOVE BROWSE CURSOR RETURN [FF4C82]」に変更 P32 CALL MODE SELECT RETURN 本コマンドを追加 P34 MOVE BROWSE CURSOR RETURN 本コマンドを追加 誤記訂正 AM の記載があったため、削除 P9 TRACK SKIP [1A] 「MULTI JOG ダイアルを回すと」の記載を削除 P6 ベンダコマンド一覧 及び P17 VENDOR COMMAND 参照ページを訂正。 P27 「4. ベンダコマンド詳細」 RS-232C 端子の記載を削除 P31 TUNER FREQUENCY PRESET [7F4F00] 及び P35 TUNER FREQUENCY RETURN [FF4F80] Data10(Reserved)を削除 ベンダコマンドで、DATA 番号が間違っていたところを修正 DEVICE SELECT の DATA 5、DATA 6 を DATA 3、DATA 4 に修正など。 P26 BACK Long push: 「押し続けると」「押すと」を削除 P28 ENTER 注の「スキップモードにする場合は PLAY AREA SELECT コマンドで Folder, skip mode を使用してください。」を削除</p>